

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木島平村馬曲地区志久組古道整備利用
事業主体 (連絡先)	ふう太の里山倶楽部事務局 長野県下高井郡木島平村大字往郷 1314-1 なまびや木島平
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (オ その他)・(3)教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,519,160 円 (うち支援金: 2,005,000 円)

事業内容

10月26日開催に志久見古道知ろう会から始まり、11月10日の志久組古道を訪ねて、2月26日の事業報告会を令和6年度地域発元気づくり支援金事業として行いました。

- ・志久組古道知ろう会では、志久見道がどこのあたり にあって隣村の栄村と繋がっていたことや史跡について説明をおこないました。
- ・志久組古道を訪ねてでは、馬曲集落からトレッキングで整備が必要な古道までを史跡ガイドをしながら辿りました。
- ・報告会では、事業を通して得た情報を報告し村長や観光関係者からご意見を頂きました。



【報告会】

【目標・ねらい】

- ① 志久見道の認知
- ② 文化教育
- ③ 観光振興・交流

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①志久見道の認知 →参加者の多くは馬曲温泉までは知っていたが、集落の奥に史跡や古い街道があったことは知らなかったのを知る機会になった。村ケーブルテレビにて報告会を放映できたことは大きな成果となった。
- ②文化教育 →今回の事業の中で烏帽子形城と古道の関連性を仮説として検討することになったことは従来よりも志久見道に関する文化財を増やせる可能性が出来た
- ③観光振興・交流 →本年の事業では古道の整備を実現するまでには至っていないが、志久見道と烏帽子形城の組み合わせは観光資源になる可能性を観光振興局理事から意見として報告会時に頂けたことは今後に繋がりそうだ。

※自己評価 【 B 】

【理由】

失われている志久見道の跡を見つけることは出来ておらず整備に係る取り組みに辿りつけなかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。(今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など)。

令和7年度の地域発元気づくり支援金事業へ継続申請を提出しました。

令和7年度では栄村での志久見認知を目指しイベントを行なう予定です。また、栄村で行われている志久見に関する活動を木島平村内で知ってもらいイベントも行い、木島平村内と栄村の交流する機会を作りたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第 1 2 号) (第 3 の 8 関係)